

## 保護者の皆様へ

魚津市立西部中学校  
校長 上坂 一弘

保護者の皆様には、日頃より、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。この4月に西部中学校に赴任してまいりました上坂一弘と申します。本来ならば、PTA 総会の折にご挨拶すべきところですが、かなわず書面にて失礼します。中学校での勤務は10数年ぶりとなりますが、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和2年度がスタートして1か月がたとうとしています。生徒が登校したのは、そのうちのわずか1週間です。しかし、この短い期間の中でも西部中学校の生徒のよさを感じることができました。まずは、明るい挨拶です。登校時だけでなく、休み時間や掃除の時間にも「こんにちは」と声をかけてくれます。もう一つは、思いやりです。先日、予定を前倒して新入生向けに部活動紹介、生徒会説明会を実施しました。2、3年生は、自分の部の魅力やよさを分かりやすく伝えようと工夫を凝らしていました。短い準備期間で、入学式に参加できなかった在校生が、歓迎の気持ちを込めて説明しようとする姿を見て、温かい気持ちになるとともに、生徒会執行部をはじめ、生徒自身の手で考え、実行していることが伝わってきました。このよさを大切にして、さらに伸ばさせることが教員の使命であると実感しているところです。

西部中学校の教育目標は「自ら考え実践する生徒」の育成です。「何事も自分たちの手で」を合言葉に生徒の自主性を重んじてきた伝統ある学校であり、卒業生である自分もそのことを誇りとしています。この目標の実現に向けて、始業式では大きく二つのことを生徒に話しました。一つは「居心地のよい学校」にしようということです。何か前に進もうとするエネルギーの源は、互いに認め合い、安心できる居場所があつてこそ生まれるものだと考えています。もう一つは、達成感を味わえる体験を積み重ねることです。自ら決めたことを実行して、「できた」「よかった」と実感できる体験を重ねることは、将来につながる自己肯定感を醸成するうえで大切なことと考えます。ただ、現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、様々な活動が制限されており、臨時休業をはじめ、行事等の中止や延期もある中で、生徒の活動の機会は例年のように多くは設定できません。このようなときこそ、教師と生徒、生徒相互、学校と保護者や地域とが信頼関係で結ばれていることが重要であると考えます。教員にとっても初めての緊急事態ではありますが、生徒の健やかな成長を目指すという目標を同じくしたパートナーとして、互いに連携・協力し合って教育活動を進めていきたいと考えています。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

次に、学校の働き方改革にかかるお願いです。裏面のとおり、市教育委員会では、教員が心身共に健康で、しっかりと子供に向き合うことができるよう、学校における働き方改革を推進しています。学校においても、校務運営組織の見直し、会議や業務の効率化等、改善に努めておりますが、この4月には、時間外勤務時間の上限が示され、より具体的な取組が求められています。そこで、市内の小中学校では、5月7日から業務時間外の電話に対して、音声ガイダンス対応をすることとなりました。保護者の皆様には、この趣旨をご理解いただき、ご連絡やお問合せについては、下記の時間にさせていただきますようお願い申し上げます。

○部活動のある平日 7:30～18:30 ○休業中や部活動のない平日 7:30～16:30

最後に、新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる対応については、今後も変更等が予想されます。本校のホームページで情報をご確認いただきますようお願いいたします。